

	プログラム仕様書	プログラム名	rdetect.c ( 1/2 )				
作成日	2001/12/20	作成者	梶原寿宣	修正日		修正者	

### 3.1.4 プログラム仕様書 [C モジュール]

#### rdetect.c

実透かし検出ライブラリを呼び出し、抽出結果を出力するためのモジュール

**関数名** : int main(int argc, char\*\* argv)

**概要** : 実透かし検出ライブラリを呼び出し、抽出結果を出力する

**引数** : argc モジュールに渡された引数の数

argv 引数文字列の配列

静止画の場合

0=自分自身

1=処理対象のファイル名

2=X 座標

3=Y 座標

4=幅

5=高さ

映像の場合

0=自分自身

1=処理対象のファイル名

2=終了タイプ

プログラム仕様書		プログラム名		rdetect.c ( 2/2 )			
作成日	2001/12/20	作成者	梶原寿宣	修正日		修正者	

戻り値 : 0=透かしなし  
1=透かしあり  
-1=エラー発生

	プログラム仕様書	プログラム名	librdetect.c (1/2)				
作成日	2001/12/20	作成者	梶原寿宣	修正日		修正者	

## librdetect.c

実透かしライブラリのダミー実装

**関数名** : int SP\_realWM\_detect(char\* fname, int x, int y, int w, int h, char\* id, char\* info)

**概要** : 静止画の実透かし抽出を行う処理のダミー

**引数** : [in] fname 処理対象のファイル名

[in]x X座標

[in]y Y座標

[in]w 幅

[in]h 高さ

[out]id コンテンツ ID を格納するメモリバッファへのポインタ

[out]info 付加情報

**戻り値** : 0=透かしなし

1=透かしあり

-1=エラー発生

	プログラム仕様書	プログラム名	librdetect.c (2/2)				
作成日	2001/12/20	作成者	梶原寿宣	修正日		修正者	

**関数名** : int MP\_realWM\_detect(char\* fname, char\* id, char\* info)  
**概要** : 映像の実透かし抽出を行う処理のダミー  
**引数** : [in] fname 処理対象のファイル名  
          [out] id コンテンツ IDを格納するメモリバッファへのポインタ  
          [out] info 付加情報  
**戻り値** : 0=透かしなし  
          1=透かしあり  
          -1=エラー発生

	プログラム仕様書	プログラム名	librdetect.h (1/2)				
作成日	2001/12/20	作成者	梶原寿宣	修正日		修正者	

## librdetect.h

実透かしライブラリのヘッダファイル

**関数名** : int SP\_realWM\_detect(char\* fname, int x, int y, int w, int h, char\* id, char\* info);

**概要** : 静止画用実透かし処理関数のプロトタイプ宣言

**引数** : [in] fname 処理対象のファイル名

[in]x X座標

[in]y Y座標

[in]w 幅

[in]h 高さ

[out]id コンテンツ ID を格納するメモリバッファへのポインタ

[out]info 付加情報

**戻り値** : 0=透かしなし

1=透かしあり

-1=エラー発生

	プログラム仕様書	プログラム名	librdetect.h (2/2)				
作成日	2001/12/20	作成者	梶原寿宣	修正日		修正者	

**関数名** : int MP\_realWM\_detect(char\* fname, char\* id, char\* info);

**概要** : 映像用実透かし処理関数のプロトタイプ宣言

**引数** : [in] fname 処理対象のファイル名

[out] id コンテンツ ID を格納するメモリバッファへのポインタ

[out] info 付加情報

**戻り値** : 0=透かしなし

1=透かしあり

-1=エラー発生

	プログラム仕様書	プログラム名	mdetect.c				
作成日	2001/12/20	作成者	梶原寿宣	修正日		修正者	

## mdetect.c

メタ透かし検出ライブラリを呼び出し、抽出結果を出力するためのモジュール

**関数名** : int main(int argc, char\*\* argv)

**概要** : メタ透かし検出ライブラリを呼び出し、抽出結果を出力する

**引数** : argc モジュールに渡された引数の数

argv 引数文字列の配列

静止画の場合

0=自分自身

1=処理対象のファイル名

2=X 座標

3=Y 座標

4=幅

5=高さ

映像の場合

0=自分自身

1=処理対象のファイル名

2=終了タイプ

**戻り値** : 0=透かしなし

1=透かしあり

-1=エラー発生

	プログラム仕様書	プログラム名	libmdetect.c(1/2)				
作成日	2001/12/20	作成者	梶原寿宣	修正日		修正者	

## libmdetect.c

メタ透かしライブラリのダミー実装

**関数名** : int SP\_metaWM\_detect(char\* fname, int x, int y, int w, int h, char\* id, char\* info)

**概要** : 静止画のメタ透かし抽出を行う処理のダミー

**引数** : [in] fname 処理対象のファイル名

[in]x X座標

[in]y Y座標

[in]w 幅

[in]h 高さ

[out]id 実透かし方式 IDを格納するメモリバッファへのポインタ

[out]info 付加情報

**戻り値** : 0=透かしなし

1=透かしあり

-1=エラー発生

	プログラム仕様書	プログラム名	libmdetect.c(2/2)				
作成日	2001/12/20	作成者	梶原寿宣	修正日		修正者	

**関数名** : int MP\_metaWM\_detect(char\* fname, char\* id, char\* info)

**概要** : 映像のメタ透かし抽出を行う処理のダミー

**引数** : [in]fname 処理対象のファイル名

[out]id 実透かし方式 IDを格納するメモリバッファへのポインタ

[out]info 付加情報

**戻り値** : 0=透かしなし

1=透かしあり

-1=エラー発生

	プログラム仕様書	プログラム名	libmdetect.h (1/2)				
作成日	2001/12/20	作成者	梶原寿宣	修正日		修正者	

## libmdetect.h

メタ透かしライブラリのヘッダファイル

**関数名** : int SP\_metaWM\_detect(char\* fname, int x, int y, int w, int h, char\* id, char\* info);

**概要** : 静止画用メタ透かし処理関数のプロトタイプ宣言

**引数** : [in] fname 処理対象のファイル名

[in]x X座標

[in]y Y座標

[in]w 幅

[in]h 高さ

[out]id 実透かし方式 IDを格納するメモリバッファへのポインタ

[out]info 付加情報

**戻り値** : 0=透かしなし

1=透かしあり

-1=エラー発生

	プログラム仕様書	プログラム名	libmdetect.h (2/2)				
作成日	2001/12/20	作成者	梶原寿宣	修正日		修正者	

**関数名** : int MP\_metaWM\_detect(char\* fname, char\* id, char\* info);

**概要** : 映像用メタ透かし処理関数のプロトタイプ宣言

**引数** : [in] fname 処理対象のファイル名

[out] id 実透かし方式 ID を格納するメモリバッファへのポインタ

[out] info 付加情報

**戻り値** : 0=透かしなし

1=透かしあり

-1=エラー発生